

造形通信

2025. 7月

NO.78

ひいらぎこども園

梅雨だというのに、あまり雨も降らず、夏のような厳しい暑さが続いていると思っていたら、梅雨が明けてしまいました。これから、夏本番。園では、子どもたちが楽しみにしているプールが始まりました。これからやってくる暑い夏も、子どもたちにとっては、お楽しみの夏のようにです。園では、冷たい氷を触ったり、絵を描いたり、色水を作ったりと、水と関わりながら活動する時間が増えています。楽しい活動をいっぱいして、暑さを乗り越えていきたいですね。

バブルアート



シャボン玉液に絵具を少し入れます。ストローを入れて、ぶくぶく、ぶくぶく。泡がだんだん大きくなっていきます。広がる泡に子どもたちもびっくり。ふくらんだ泡を画用紙の上に置いていきます。泡が作る色と形の造形です。自然ににじんだ色がとてもきれいです。



あじさいスタンプを使って、
ポンポンポン!

スタンプング

事前に、ほんの少し材料用具を用意しておくことで子どもたちの造形意欲が高まります。

あらかじめ凍らせておいた色の氷を、筆のように動かしていくと、溶けた氷で画用紙に色をつけていくことができます。画用紙ににじむ色がとてもきれいです。

絵の具で いろいろ

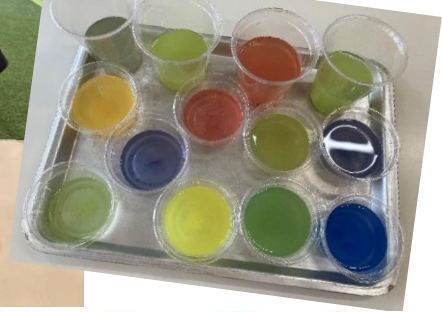
楽しいこと いっぱいやりよう!

氷絵の具



きれいな色を見てにっこり!

色水遊び



すごく真剣な目で
ぬってるね!



ひいらぎキャンプ二日目。あおぞらひろばで大きな紙の上を、ペタ。顔や手にいっぱい絵具がついてもへっちゃら。大きな紙と絵具を用意するだけで、子どもたちのテンションは、盛り上がります。その後は、身体全体を使って、絵の具の感触を楽しんでいます。